

一般質問

市民の声を市政に

一般質問に29人が登壇

(文責は、各質問者)

市議会は、年4回（3月、6月、9月、12月）定例会を開会しています。本会議は、通常午前10時から開催されます。
市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されています。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみたいはいかがでしょうか。
皆さんの選んだ議員が、市民の代表として活躍している姿をご覧ください。

放課後子ども教室について



五十嵐みどり
議員

学校帰りをねらった不審者から子どもを守るため、地域の人による放課後のパトロールが市内で広がっています。子どもの安全や放課後に友達と遊びながら、よい人間関係をつくる意味からも、放課後対策は大切であると思います。文部科学省の放課後子ども教室と厚生労働省の放課後児童クラブを連携した放課後子どもプランが、平成19年度から推進されるとの報道がありました。これは教育委員会が指導し、福祉部局と連携を図り、すべての小学校区で実施をするものです。

開催されています。本市においても同様に放課後子ども教室を、実施してはいかがでしょう。

社会教育部長

実施する上で解決しなければならぬ課題が幾つかありますので、先進事例等について情報の収集、把握に努め、今後設置を予定している機関での調査研究に生かしてまいりたいと考えています。

このほか

- 「いじめ問題」について
- 子育て支援事業について
- 広報紙の表紙を市民からの公募に

教育について



山崎 進
議員

ゆとり教育ということ、平成14年度から学校週5日制が実施されました。詰め込み教育に対する改善策として提唱されたわけですが、休みがふえて授業時間数が不足したことによる詰め込みの影響で、いじめなどの問題行動の誘発や学力低下が指摘されており、

私は問題があるものと思っております。

学校週5日制の実施前と現在では、学校教育はどのように変化しているのか伺います。

また、言葉によるいじめは、言った方は冗談でも、言われた方はいじめにとつてしまうこともありま。冗談も言えないようでは、友達関係も希薄になってしまいう気がいたしますが、どのような指導をしているのか伺います。

学務指導担当部長

本市の小中学校のいじめ・暴力問題件数が、今年度は10月末で35件に上りましたが、平成15年度からは減少傾向でした。このことは、学校週5日制導入の成果を示す一つだと思えます。今後も課題に謙虚に耳を傾け、研究改善を図り、導入の趣旨に沿った教育活動を推進してまいります。

子ども同士の人間関係や大人と子どもの人間関係を、どのように構築していくかは非常に難しい問題ですが、学校教育の中で、さらに充実させていきたいと考えております。

このほか

- 助役について
- 財政について
- 放置自動車について

生活保護改善のために



秋山 文和
議員

昨今、全国各地で生活保護の申請に行っても受け付けをしてもらえず、餓死をする事件が発生しています。生活保護は、生存権を定めた憲法第25条に基づき、市民が生活に困った時の最後のよりどころであり、セーフティーネットとして窓口を訪れるわけです。生活保護申請は、市民の申請権を保障して、申請をしやすくするために申請書を窓口にご置く必要があると思います。新潟県では、申請書を窓口にご置くよう福祉事務所に指導があったとの報道がありました。本市でも申請書を窓口において、申請意思のある方に対しては、すべて受け付けをするべきだと思いが、いかがか。

○福祉部長

生活保護法第7条に基づく生活保護の申請を抑制する考えはありません。

申請書を交付する場合には、制度の説明、受給要件、受給

者の義務等の説明、また、保護の補正性に立った必要事項と助言は、申請後の調査の円滑性、制度の認識違いによるトラブル防止のために必要不可欠なものと考えています。今後とも生活保護制度の適正かつ円滑な実施のために、福祉の心を持ち、相手の立場に立った面接相談をきめ細かく行つた上で、申請意思を確認して、申請書の交付を実施してまいりたいと考えています。

このほか
○財政見直しについて
○粕壁三丁目A街区公共事業手法の見直しを

春日部市の都市農業について



武 幹也
議員

現在、国では担い手対策などのため農業政策改革が進められています。春日部市でも都市型農業の一例として生産直売による地産地消を推進しておりますが、さらなる取り組みが必要です。そこで、学校と農家が連携し、給食に多くの地元農産物を供給できる

ようにしたらどうでしょうか。

また、農地の活用として体験ファーム制度を提案いたします。これは、通常の市民農園と違い営農行為なので、生産緑地の相続税猶予が使用できるとともに、入園料、収穫代金などの利益も得られます。また、退職する団塊世代の受け皿としても需要が高いと思いますがいかがでしょうか。

○環境経済部長

現在の学校給食における地元農産物の使用は、お米が約67%、トマトが約42%などです。学校給食に地元農産物を供給することは農業活性化はもとより、食育や地産地消につながると考えています。今後、農業推進の立場から多くの農産物を学校給食に供給できるように研究してまいります。

また、体験ファームについては、高齢化などによる農業の担い手不足や遊休農地解消対策として、現在の市民農園を発展させる方式として実施できるか研究してまいります。

このほか

- 手話通訳派遣事業とその充実について
- 子育て支援「育児の日」の制定について
- 下水道の普及について

栄町の浸水対策と三千貝堀幹線工事の進捗状況について



石川 勝也
議員

栄町三丁目は地盤が軟弱な地域が多く、浸水対策や生活排水路の改修が長く望まれております。このような地元の声を尊重いただき、現在、三千貝堀幹線工事として排水路の改修工事が行われています。その全体計画と進捗状況をお伺いします。

また、栄町の排水路において、フェンスがしてあるもの子どもが落ちる可能性がないとも言えません。子どもや地域の安全対策向上のために、ふたをかける工事について積極的に検討をお願いします。

○建設部長

三千貝堀幹線工事の全体計画は、市立第七保育所の西側丁字路から隼人堀川までの水路のうち、約810メートルについて、幅員の拡大及び暗渠化の改修を実施していくものです。工期は平成20年度までの5カ年を予定しており、工事進捗率は11月末時点で約

15%であり、予定どおり進んでいます。この改修により、これまでの被害も大幅に軽減されるものと考えています。

排水路のふたかけについては、栄町地内の約66%が実施済みです。ただし、軟弱地盤により傾いた水路であることから、まずは、この改修に努め、あわせて水路を歩道として利用する必要性を考慮しながら判断してまいります。

このほか

- 健全なる子どもたちの成長と学校教育の中から
- 納得いく介護保険と行政の役割について



三千貝堀幹線工事

**(仮称)ララガーデン
春日部について**



岩谷 一弘
議員

いよいよ建設が始まった市民注目の春日部駅西口大型商業施設、(仮称)ララガーデン春日部について、以下に関して質問します。

- ①概要と工事開始後現在の苦情と対応について
- ②交通渋滞緩和策と信号機設置について
- ③地域振興ふれあい拠点施設予定地の利用と今後の計画について

○環境経済部長

概要は、建築主(事業者)は三井不動産。施工は銭高組。敷地面積23000平方メートル。80の物販、飲食店。映画館9スクリーン。約1000台の駐車場です。

○市民部長
施工時間や振動についての苦情がありました。法定基準内であることを確認しました。今後にも市に苦情が寄せられた場合は、事業者に誠実な対応を求めてまいります。

信号機の設置要望を含め、渋滞緩和策を警察、事業者と引き続き協議してまいります。

○総合政策部長

地域振興ふれあい拠点施設予定地の一部、約1270平方メートルを工事施工者に有料にて貸し出しました。今後の残りの部分についても貸し出しできるように、取得予定者である埼玉県と協議してまいります。

このほか

- 地域振興ふれあい拠点施設について
- 粕壁三丁目A街区市街地再開発事業について



《(仮称)ララガーデン春日部 工事現場》

**大型商業施設開店と
まちづくり**



村松 君子
議員

来年秋、春日部駅西口南の広大な土地には、大型商業施設(仮称)ララガーデン春日部がオープンします。その概要は、店舗面積は、23000平方メートル。キーテナントは、ショッピングストアと映画街(9スクリーン、1800席)。テナント数は、800席。駐車場台数は、1000台。1日平均来店者数見込みは、12000人と大規模なものです。規模から見ても、ロビンソンに匹敵します。地域の商店街や他の大型商業施設にも大きな影響を与えるものだと考えます。「まちづくり」の観点で見ていく必要があると思えますが、いかがでしょうか。

今、「ワーキングプア」と言われるように、働いても結婚できない、子どもを産めないという貧しい状況があります。若者の2人に1人は非正規雇用と言われています。大

型商業施設の開店に際しては、新規従業員採用が見込まれます。市として、正規雇用を基本とした地元優先の採用を申し入れていただきたいと思えますが、いかがでしょうか。

○環境経済部長

新たな拠点として中心市街地の回遊性を高め、周辺商店街への相乗効果が期待できると考えています。また、他の大型店とは異なった消費者層を対象としていると聞いています。採用については、設置者にお願ひしてまいります。

このほか

- 介護保険について

**市の花等や春日部音頭
郷土かるたを
新しくする必要性**



内田 勝康
議員

合併に伴い市の花・木・鳥のアンケート調査を実施していますが、制定に向けてどのように考えているのでしょうか。あわせて、庄和地域も含めた歌詞による新しい春日部音頭や市の歌が必要と考えますが、いかがでしょうか。また、郷土かるたについて

も、庄和地域の大鳳あげや西金野井の獅子舞など大変素晴らしい歴史、文化があるので、新しくする必要があるのでないでしょうか。

○総合政策部長

市の花・木・鳥の制定については歴史や親しみやすさを考慮し、春日部市を象徴するものを選定する必要があります。また、音頭や市の歌については合併後の一体感を醸成し、郷土に一層の愛着をもつていただくということから意義あるものと考えています。

市の花・木・鳥と市の歌については、現在、広く市民の皆様のご意見を伺うためのアンケートを実施しています。

その結果を尊重し、総合的に判断をしていきたいと考えています。

○社会教育部長

郷土かるたについては、春日部市青少年健全育成審議会から、市としての一体感を培うためにも新しいかるたの作成が必要であるとのご意見をいただいています。その意見を尊重するとともに関係部署と協議を進めてまいります。

このほか

○市内の小中学校と春日部市教育委員とのかかわり

市立病院再建に向けて



小久保博史
議員

社会情勢の変化の中で市立病院もその存在が問われており、市立病院を今後どうするか、真剣な議論を重ねて将来の進路を決定すべき時であると考えます。具体的には、市の財政も苦しく、病院の経営にも好転の兆しがないとしたら、現在の市立病院は朽ち果てるまで放置しておくのか、新病院の建設を優先させていくのか、それとも民間の機関に経営を任せることも考えているのか、市長の考えを伺います。

また、市長の言う経営健全化とは、病院に対して赤字、黒字という意味の経営優先を求めるのか、それとも市立病院が今果たしている公的医療を今後も継続することを優先するのか、市長の考えを伺います。

市長
病院施設の老朽化については認識しており、何もせず

病院経営を継続していくことは考えておらず、皆様に来院していただけるよう、一定の整備は必要と考えています。

また、できることなら黒字化を望みたいとは思いますが、公的医療には周産期医療、小児医療等の不採算となりがちな医療と地域中核病院としての高度医療等の役割がありますので、今後も継続して実施してまいります。

病院の再建に向け、あらゆる努力をしております。

このほか

市民サービスの向上とわかりやすい行政をめざして

教育基本法について



蛭間 靖造
議員

教育基本法は、日本国憲法の理念に基づき制定された法律だと私は思っています。多くの国民の声は、なぜ今変えなければならぬのかということにあります。今、学校現場では、いじめ問題や必修教科の未履修問題等、早急に取り組むべき課題が山積してい

ます。これらの問題への対応こそが緊急になされるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

また、もし教育基本法が改正されれば、教育現場はますます混乱することが予想され、子どもたちの負担が大きくなると思います。今、学校に求められるものは、すべての子どもたちが生き生きと活動できる場としての再生だと思いますが、いかがでしょうか。

学務指導担当部長

いじめや未履修問題への対応と教育基本法の改正は、どちらを優先すべきかということではなく、それぞれ別々に考えていく問題だと思います。

現在、市内の学校では、子どもたちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、学校教育の充実と教職員の資質向上を図り、特色ある学校づくり、魅力と信頼に満ちた学校づくりを進めています。

このほか

東武伊勢崎線の北越谷から北春日部までの連続立体化について

県道春日部菖蒲線の環境整備について

春日部駅東口周辺の環境美化について

西金野井第二土地 区画整理地内の安全対策 及び道路整備について



富樫 清年
議員

区画整理地内の道路では、どちらが優先道路なのか不明確な交差点が多く、交通事故が頻繁に発生しています。道路標識や区画線、道路標示等によって注意を喚起するよう安全対策が必要だと思いますが、見解を伺います。

また、地域北側の県道西金野井春日部線と接する部分は未整備であり、砂利道のため水がたまったりして、歩行者や自転車を通るのに大変困っています。この境目部分の整備予定を伺います。さらに、一時的にこの部分の仮舗装ができないか伺います。

都市整備部長

平成16年9月に春日部警察署に要望を行い、協議の結果、通学路を重点として規制標識10カ所、横断歩道3カ所を設置し、既設の規制標識を含め27カ所設置しています。さらに、注意を促す簡易看板を21カ所設置しています。今後も

安全の確保を図るため、警察署に設置要望を行うとともに、簡易看板の設置を検討します。

また、県道部分の整備は、スーパードレインの共同化事業等のため、平成22年度以降になる予定です。今後、出入り口程度の範囲において、暫定的な整備を検討します。

このほか

広域農道（市道9-3055号線）の下柳地区に信号機の設置を

市内公民館に鏡の設置をについて

市内小中学校の耐震診断の進捗状況について



県道西金野井春日部線

市立病院について



栄 康次郎
議員

市立病院の累積欠損金は本年度で40億円に達する状況です。本気で再整備を考えるのであれば、累積欠損金を政策的に一度解消しなければならぬと考えますが、市の考え方を伺います。

また、再整備や移転新築などについて専門的に検討する機関を市長部局に設置してはいかがでしょうか。

さらに、市の方針を早急に出すべき時期であり、再整備に関する市長の率直な考えと、地方公営企業法の全部適用の考えを伺います。

○総合政策部長

累積欠損金を早期に解消することは、困難な状況であると認識しています。今後も、市と市立病院が一体となってこれ以上の累積赤字をふやさないための方策を検討し、実施していくことが必要であり、重要であると考えます。再整備の検討にあたっては、

全庁的な検討委員会の設置が必要と認識していますので、先進事例を研究し、今後検討してまいります。

○市長

再整備の財源として企業債の活用が不可欠であり、病院事業会計の健全化が必要と考えています。再建に向けてあらゆる努力をまいります。地方公営企業法の全部適用については、シミュレーション等を行い、検討してまいります。

このほか

○地域ふれあい拠点施設及び民間商業施設について

メリットシステムについて



白土 幸仁
議員

春日部市緊急財政健全化計画では、自主財源の確保や歳出全般の効率化など、今後3年間の基本計画を策定しております。支出の抑制については、この計画とともに職員の潜在的意識改革をすれば抜本的な改革につながりやすいと考えます。

最近多くの自治体で導入されているのがメリットシステムで、横浜市では予算を削減した分の2分の1、または全額を削減の工夫等をした部局の翌年度以降3カ年の予算に上乗せしています。

職員が努力しただけ見返りがあるメリットシステムの導入により、予算執行段階での職員の意欲の向上と歳出削減が期待できると考えますが、メリットシステムについての認識と導入について、市の考えをお聞かせください。

○財務部長

メリットシステムのような制度は、通常の予算編成時には担当部の励みにもなり、有効であると考えています。しかし、現況は歳出の削減額や歳入の確保額の一部を数年にわたってその部署に担保することは、非常に厳しい状況であると認識しているところではあります。

今後は、他市の試みも参考に研究して、工夫を凝らし、職員の意識改革につながる予算編成に取り組んでまいります。

このほか

○日本一子育てしやすい街に向けて

市内循環バス運行に向けて



会田 幸一
議員

市内循環バス事業は、合併後の新市の一体感や活性化のために、また、特に庄和地域の住民にとって重要な事業です。市民の声を取り入れていくことが大切ですが、市民参加のあり方を含めて検討経過を伺います。

また、運行開始までは計画策定後1年程度の準備期間が必要とのことですが、可能な限り早期に実施してほしいと思います。あわせて、市長がこの事業を通してどのようなまちづくりを考えているのか伺います。

○総合政策部長

本年1月から市内公共交通の現況調査を開始し、5月にはアンケート調査を実施しました。8月には春日部市地域公共交通検討委員会を設置し、計画素案を一部修正して今回の計画案がまとまり、現在、1月4日まで市民意見提出制

度を実施しています。準備段階においても、市民の声を取り入れるよう努めてまいります。

○市長

できるだけ早期に運行を開始できるよう努力してまいります。また、循環バスの運行を通して、今の春日部市に最も必要なにぎわいや活気を呼び戻すきっかけとしたいと考えています。

このほか

○地域審議会の経過及び内容について

○安易なベットの飼育放棄の防止策について



循環福祉バス